

美郷がいちばん、すきです美郷

みんな 議会だより

第24号
2010.7.15

6月定例会

国保税率・限度額ともに引き上げ	定例会概要	2
戸別所得補償加入への感触は	主な質疑	4
施策と投資の集中が大切	行政視察研修	6
3議員が6項目について質す	一般質問	8
もりっ子ぼんでん物語	キラリ美郷人	12

みんな大好きラベンダーアイス
(美郷っ子広場・3園の5歳児交流)

国民健康保険税

税率・限度額とともに引き上げ



仙南診療所

6月定例会を、6月8日から11日までの4日間の会期で開きました。

審議した議案は、国民健康保険条例の一部改正案など15議案。そのすべてを、原案のとおり同意・可決しました。

また、一般質問は3氏が登壇して町政をただし、陳情1件を採択しました。

医療費伸長

1億3000万円でも追いつかず

国民健康保険税の税額は、毎年、前年度繰越金が増える傾向にある。6月定例会で決まります。

今定例会、国民健康保険特別会計補正予算の歳入に、前年度繰越金として1億円を追加し、国保財政調整基金を取り崩して3000万円を充当しました。しかし、当初予算で4・6%と予測され

た医療費の伸長には追いつかず、国保税率を引き上げる改正案が提案されました。

国保税は、医療費分・後期高齢者支援金分・介護保険分をそれぞれに所得割・資産割(応能)、均等割・平等割(応益)に分けて算定し、その合計額を賦課します。改正案は、医療費分の所得割

資産割税率と均等割・平等割金額を引き上げるものです。

う専決処分(※注)を承認して、医療費分と支援金分の課税限度額を引き上げました。

議案では、この国保税条例改正案と国保会計補正予算案を賛成多数で可決しました。また、国の地方税法の改正にともな

う改正された国保税の詳細は、前年度対照表をご覧ください。

一般会計補正予算

子宮頸がん予防接種に助成

その他、平成22年度一般会計補正予算では、歳入・歳出それぞれに1億8901万1千円を追加

し、補正後の予算総額を110億9870万7千円としました。

主な内容は、中学校の女子生徒を対象に、新たに創設した子宮頸がん予防接種経費の助成金876万8千円、4月26日故障した六郷温泉あったか山源泉ポンプの交換に関連した経費608万6千円、5千円を限度に住宅用火災警報器の2分の1を助成する1913万円などです。

以下、本会議での主な質疑を4〜5Pに、6月30日から3日間おこなった行政視察報告を6〜7Pに、一般質問を8〜10Pに掲載します。なお、広報・美郷7月号の8〜9Pにも6月定例会の関連記事を掲載していますので、あわせてご覧ください。

国民健康保険税の前年度対照表

1. 国民健康保険税・税率調

	応能				応益			
	所得割		資産割		均等割額		平等割額	
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度
国民健康保険(医療費分)	6.20%	6.60%	26.30%	28.10%	20,900円	22,300円	20,000円	21,300円
後期高齢者課税(支援金分)	2.20%	2.20%	10.70%	10.70%	7,500円	7,500円	6,900円	6,900円
介護給付金課税(介護保険分)	1.40%	1.40%	8.20%	8.20%	7,100円	7,100円	4,200円	4,200円
合計	9.80%	10.20%	45.20%	47.00%	35,500円	36,900円	31,100円	32,400円

2. 国民健康保険税・課税限度額調

	21年度	22年度
医療費分	47万円	50万円
支援金分	12万円	13万円
介護保険分	10万円	10万円
合計	69万円	73万円

- 応能
 - ・所得割 → 負担能力に応じた課税
 - ・資産割 → 所得(課税総所得金額)に応じて計算
- 応益
 - ・均等割額 → 資産(固定資産税)に応じて計算
 - ・平等割額 → 受益数に応じた課税
 - ・均等割額 → 加入者数に応じて計算
 - ・平等割額 → 1世帯いくらと計算
 - 課税限度額 → 税を賦課できる最高額

3. 国民健康保険税・税額調(平均額)

	一世帯あたりの額		一人あたりの額	
	21年度	22年度	21年度	22年度
医療費分	111,803円	112,621円	55,842円	57,353円
支援金分	39,099円	37,040円	19,522円	18,862円
介護保険分	25,808円	24,739円	18,838円	18,164円
合計	176,710円	174,400円	94,202円	94,379円

*課税限度額の改正や加入世帯数増などにより、22年度の一世代平均額は前年度より下がりました。

六郷温泉あったか山

※注)専決処分
自ら決めること。
議案を開くいとまがない時に、議会の権限事項を長が

戸別所得補償加入への感触は

11日の定例会最終日、議案に対する質疑と採決が行われました。主な質疑を要約しお伝えします。

一般会計補正予算

深澤(均)議員 戸別所得補償への加入や、大豆への取り組みなど野帳提出段階での感触をうかがう。

農政課長 21年度は転作未達成者が62名だが、今年度は、現段階で12名減る予定だ。大豆については、加工用利用米への取り組みが増えており、その分減少するものと思われる。

企業誘致は

森元議員 企業誘致のため旅費が計上されているが、どのような企業にねらいを絞っているか。

商工観光交流課長 愛知県の自動車関連部品工場へ誘致せしめ、クルスに行く旅費だ。

泉(美)議員 子宮頸がん予防接種が、生活保護世帯に全額公費負担というのであれば、準要保護世帯にも拡大すべきではないか。

住民検討会の内容は

熊谷(良)議員 空き施設等活用住民検討委員会のメンバーと対象施設、今後の日程は。
総務課長 美郷町学校再編による空き施設を対象に、各種団体の代表者6名、地域住民



大豆圃場への除草剤散布

国民健康保険税条例の改正

医療費の伸びは

泉(美)議員 21年度医療費の前年度対比は。
福祉保健課長 一人あたり換算で、20年度は約19万9千円、21年度は20万9千円と5%ほど伸びている。

反対討論

泉(美)議員 経済不況のもと、昨年に続いての引き上げはさらなる負担増となるもので、一般会計からの繰り入れなどで値上げを抑えるべきと考え、町民の暮らしを守る立場から賛成できない。

職員の育児休業等に関する条例の改正

男性の育休取得は
中村(美)議員 男性職員の育児休業取得状況は。
総務課長 今のところ取得者はいない。

賛成討論

泉(繁)議員 医療費の高騰が続く中、前

代表としてPTA役員6名、それに町から2名の14名だ。概ね12月をめどに方針を定めていただく。

火災警報器補助の申請は

熊谷(隆)議員 住宅用火災警報器補助金の申請と内容の周知は。

住民生活課長 申請は、購入先を町内とし領収書と鑑定合格証をお願いする。周知はチラシなどで対応する。

戸澤議員 補助申請の想定数と生活保護世帯への全額補助の考えは。

住民生活課長 すでに設置されている家庭を2割程度とし、全ての家庭が申請するかどうかということもあり、6割分を計上している。保護世帯への全額補助は考えていない。

工事内容は

福田議員 南行政センターの工事内容は。
総務課長 通用口タイル修繕工事で、指定管理契約をする。以前に修繕を必要とするものだった。



旧保健事業団施設

保健事業団の空き施設は

福田議員 保健事業団の旧施設に入りたいという方がたくさんいるようだがその対応は。
総務課長 複数の問い合わせがあり、商工観光交流課で対応を進めている。

施策と投資の集中が大切

長野県川上村



川上村レタスのパンフレット

1日目の視察地、長野川上村に到着。標高1100mの高地一面に広がるレタス畑、そのレタスを詰めた段ボール箱を運び出す大型トラクター

があらこちらに止まっています。午後2時からの研修でしたが、畑には人影がまったくありません。それもそのはず、夜明け前の午前2～3時頃から照明をつけての収穫・出荷作業がお昼まで続き、研修中は大切な昼休み時間です。午後は苗の定植や防除作業、夕食をすませ夜8時に就寝というのが一日のサイクルでした。

3月の播種から10月の収穫終了まで、1800haでの二期作。この猛烈な頑張りの成果が、約600戸のレタス農家で150億円ほどの販売額を生みだします。1戸あたり2500万円の販売額はうらやましい限りです。しかし、驚かされるのはこれだけではありません。平均耕作面積が3haで、10aあたり9000株のレタスの植え付けや収穫は全て手作業でした。雇

用なしには栽培ができず、平成18年には外国人研修生受け入れの協議会を設立しています。本年度は中国やフィリピンから744名の技術習得研修生を受け入れ、347戸の農家に2～3名配置し村の農業を支えてもらっていました。

農業後継者の定着率は高く、人口約4000人の村に40歳までの消防団員が300名もいました。理由は、高収入が望める農業ができるためで、村には耕作放棄地もほとんどありません。また、レタス栽培が基幹産業で、稲作や花き、果樹が全くないために思い切った施策ができるということでした。

大田区つながりでも 長野県東御市 友好的に

視察2日目は、美郷町と同様に、東京都大田区と友好都市提携を結んでいる長野県東御市を訪問しました。

千人で県の東部に位置し、八ヶ岳連峰の雄大な山並みが広がる自然豊かな市です。

平成10年8月に、東京都大田区が、合併前の旧東部町に区民の保養施設と児童・生徒の校外施設



町田議長(左)と花岡市長

の共同施設として「大田区休養村とうぶ」を建設・オープンし、今では大田区59校の小学生が毎年3泊4日の校外活動に訪れています。

市の重点施策として、3・5万人から4万人が暮らす元気なまちづくりを第一に掲げ、地産地消・食の掘り起こしの推進による「食育の里」づくりや、グリーンツーリズムなどによる都市と農村交流の推進で定住人口の増加を目指しています。

東御市と美郷町は、大田区でおこなわれる「OTAふれあいフェスタ」を通してのつながりもあり、今回の視察は大変友好的なものだったと思います。

校舎問題に一步踏み出す

山梨県北杜市

現在、少子化が進む中で空き校舎対策は、多くの自治体が共通に抱える課題です。まして、合併市町村の場合は、この問題が顕著化してきます。

美郷町も、平成25年4月1日までに、6つの小中学校が空き校舎となります。地域住民にとって『よりどころ』だった小中学校の空き校舎をどうするのかが、現在、合併美郷町の一番の課題とも言えるでしょう。



食がテーマの昭和校舎

行政視察の3日目は、この問題解決の一助となるよう、山梨県北杜市にある「三代校舎ふれあいの里」を視察しました。

この施設は、明治・大正・昭和と三代にわたる地域の学校を復元して一箇所に建設され、それぞれ、

- ▼明治校舎が歴史資料館でNPOによる運営
- ▼大正校舎が農業体験農園施設で住民による管理委員会運営
- ▼昭和校舎が食をテーマ

にした複合施設で第三セクターによる運営となっていました。

復元建設ということでは、実際に空き校舎を利用した事例ではありません。しかし、アイデアとしては学校の校舎が様々な用途でできることを実感し、美郷町議会がこの問題に一步踏み出した研修となりました。

一般質問

3議員が6項目について質す

ただ

質問者

深澤 均 議員
森元 淑雄 議員
泉 美和子 議員

子宮頸がん予防 ワクチンに助成を 準備が整い次第実施する



議員 泉 美和子

人が亡くなっているという推計されている。予防ワクチンは任意接種で、約5万円の高額費用がかかり、各自治体での公費助成が広がっている。当町での助成を求め

議員 子宮頸がんを予防する画期的なワクチンが開発され、日本でも承認、販売される中、公費での接種を望む運動が広がっている。国内では年間1万5千人が罹患し、約3500

町長 予防ワクチンは、正しい知識や情報の啓発普及を、確実に行った上での実施が大切だ。

専門家の見解や国の方向性を検討し、医師会の協力支援の内諾が得られたことから、準備が整い次第実施する。

住宅リフォーム助成事業を

今年度は、中学女子生徒273人に接種支援の費用を補正計上している。

議員 昨年の12月議会でも住宅リフォーム助成事業の創設を求めたが、今年3月から県が実施したことを受けて、県内3分の2市町村に助成制度が広がっている。

町長 個人所有住宅への公金支出は、町民各位にその施策目的がはっきり理解されることが肝要と考える。一過性の施策ではなく、できれば一定期間実施し、行政課題の解決に寄与する施策にしたいと考えている。

議員 望の高さと、事業の地域経済への波及効果の大き

町長 したがって、経済対策としての側面が強い県事業は県



中野地区交差点の早期改良を 看板設置で注意を喚起

議員 町道中野寺田白山線は選果場方向から進行してくると県道角六線にかなり鋭角に交差しており、交差点付近六郷方向への見通しが非常に悪く危険だ。道路改良計画はあるのか。なければ交差点だけの早期改良が必要だ。

町長 道路改良計画はない。交差点改良は、直角交差を条件に県公安委員会と協議することになるが、この箇所は県道側が緩いカーブが連続しているため、見通し良好な地点などについて十分な検討が必要ことや、用地確保など多くの課題があるため、直ちに方針を決

められない問題だろうと思う。幸いこれまで大きな交通事故は10年以上ない。この状況を維持できるよう町としては、町道側に新たに看板を設置して注意を一層喚起するとともに県道側にカーブミラーを増設していきたい。

次世代との交流の場を

議員 少子化対策や定住促進にあたり、20代、30代を中心とした次世代の考え方や価値感を肌で感じ、今後の町づくりに生かすことが活力ある美郷の起点と考える。幼稚園・保育園の保護者会や小学校PTAの機会に、町長と町づくりを語り合う交流の場をもてないか。

また、次代を担う若手農業者間の交流の場も必要であり、町としても積極的な対応・交流をすべきだ。

町長 幼・保育園や学校、保護者会やPTA役員に対し、意見交換の時間の確保や参加見通しなどについて打診したい。若手農業者の交流については、今年度は美郷町地域担い手育成総合支援協議会でも、重点活動と

して若い担い手の掘り起こしとともに、意見を伺う場を設けることにしている。町としてはこの事業とタイアップして交流の場を設定していきたい。



議員 深澤 均



町道中野寺田白山線と県道の交差点

請願・陳情

採択しました

◇安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書

国土交通省管理職ユニオン東北支部
執行委員長 堀井 学



山田重悦氏 新任
(金沢野際)

〔人権擁護委員の推薦〕
次の方の推薦に同意しました。

◆人事

平成22年度「住民と議会との懇談会」を開催します

議会では、本会議の内容や議会活動の状況などを町民の皆さんにご報告・説明し、また、議会に対する意見や要望をお聴きする機会として、「住民と議会との懇談会」を開催します。町内9会場どこでも自由に参加できます。たくさんのご来場をお待ちしております。

1. 日程

日時	地区	会場	担当班
7月20日(火) 午後7時00分～ 午後8時30分	千畑地区	一丈木会館	1班
	千畑地区	小荒川会館	2班
7月21日(水) 午後7時00分～ 午後8時30分	六郷地区	大町会館(大町農業会館)	3班
	仙南地区	上千間谷地会館	1班
下中野町会館		2班	
籠林会館		3班	
7月22日(木) 午後7時00分～ 午後8時30分	六郷地区	馬町児童館	1班
		押切紀の国会館	2班
	千畑地区	安城寺会館	3班

2. 担当班議員氏名

1班	2班	3班
熊谷 良夫 武藤 威 中村 利昭 澁谷 俊二 熊谷 隆一 飛澤龍右エ門	中村美智男 伊藤 福章 泉 美和子 泉 繁夫 深澤 均 高橋 猛	森元 淑雄 吉野 久 福田 守 杉澤 隆一 戸澤 勉 深沢 義一

◆議会の動き

4月	5月	6月	7月
1・2・5日 議会広報特別委員会 議会運営委員会	12日 議会全員協議会	1・8日 議会運営委員会 第3回議会定例会 (7月11日)	6・8日 議会広報特別委員会
9日 議会運営委員会 議会意見交換会	22日 議会意見交換会	8日 第3回議会定例会 (7月11日)	15日 議会意見交換会 行政視察研修 (7月2日)
23日 岩手県遠野市議会来町(議会広報視察研修)	22日 岩手県遠野市議会来町(議会広報視察研修)	9日 議会広報特別委員会 議会運営委員会	15日 群馬県吉岡町議会来町(議会運営・議会広報視察研修)

オムニコートの新設を
議論を深めたい

議員 町のテニスコートはかなりの年数が経過し、状態も悪化している。また、コートもアスファルトのため、身体への負担も大きい。現在、町のソフトテニスクラブでは他市のコートを借りて練習し、美郷町大会も他市で行っている状態だ。このような状況からオムニコートの新設が必要と考える。

町長 体育施設については町民の体力向上や健康増進を推進する上で大切な施設と認識している。しかし、練習場新設は、建設費のみならず、維持管理も考慮する必要がある。町の弓道場や、パークゴルフ場が近隣の市の人達からも利用されているように、施設の広域的な利用も選択肢の一つではと考える。

しかし、今後の学校統合に伴うテニスコートのあり方も視野に入れ議論

体育施設の管理体制は

議員 5月下旬、社体球場と百目木球場を訪ねると、草が伸びたまま、フェンスなどもつぶれたままの状態であった。各施設を長く保つためにも、保守管理が何より大事と思うが今後の町の管理体制についてうかがう。

町長 野球場の保守管理

を深めたい。また、町民大会については、既存の教育施設利用について調整可能であれば対処したい。



森元 淑雄 議員

については、これまで年数回の草刈りを始め必要に応じて修繕を実施しながら管理してきたが、今年度、一部球場の管理が十分にできず、直ちにできる範囲の保守を行い、破損しているフェンスの修繕も6月中に発注する予定だ。

今後は町有の体育施設全体を考慮すると、町が野球場のみに一定水準を維持する保守管理を全面的に担うことは公平性の問題や財政の観点から難しさがあると考える。したがって、メイン球場は町ができるだけ保守管理を担い、サブ球場については、野球連盟などにするなど意見交換しながら対応してまいりたい。



社体球場での野球

キラリ美郷人 VOL.19

シリーズ

キラリ美郷人は、学校シリーズ第3回目として金沢小学校の活動を紹介します。

八幡神社へのぼんでん奉納



もりっ子ぼんでん物語

金沢小学校



『もりの学校』・・・いつの頃から呼び継がれてきたのでしょうか。郷愁を誘うやさしい響きの別称をもつ金沢小学校。坂道を登り切ると、校門の横にそっと佇んでいる二宮尊徳像と小鳥の囀りが、来校者をお迎えしています。

さて、本校では、平成20年度から全校ミュージカルに挑戦しています。それは、当時の職員と子どもたちとで作り上げた創

編集後記

作劇「もりっ子ぼんでん物語」です。明治7年開校の本校は、『もりの学校』として地域の方々に愛され、伝統として特色のある活動を大切に引き継いできました。「もりっ子ぼんでん物語」は、八幡神社への奉納相撲や梵天・太鼓など地域との関わりの中で取り組んできた活動を盛り込みながら、学校や郷土への愛着と生きることへの勇気を育む内容になっています。

また、21年度と22年度は、「チェンジあきた教育プロジェクト事業」に採択され、県の助成を受けて、プロの演出家や俳優から台本見直

参院選の最中である。あまり期待されていなかったサッカーの活躍に関心が集中し、地球儀を出して対戦国を捜している。

首相が短期間に交代を繰り返しているは、国の施策に期待が持てず憤りすらおぼえる。

梅雨空の早朝、我が家の裏木戸にオニヤンマ（ノマダンブリ）が生まれ始めた。夜には裏の小川の橋に腰をかけ、ほたるの舞を眺めている。しばし、なごみのこの季節が特に嬉しい。

戸澤 勉

議 会 広 報 特 別 委 員 会

委員長	泉 美和子
副委員長	深澤 均
委員	吉野 久
委員	戸澤 勉
委員	飛澤龍右エ門
委員	深沢 義一

次回定例会は、9月上旬の開会を予定しています。傍聴を、お待ちしております。

しや演技指導を受けての発表となります。照明機材・音響機材もプロ仕様の中で、群読・演奏・歌・踊りと子どもたちの個性と表現力がキラリと輝くことでしょう。

今年度も7月からプロの方々との練習が始まります。太鼓や梵天歌は、地域の方々からご指導をいただきます。9月18日の学習発表会では、家族や地域への感謝の気持ちも込めて精一杯の発表を致します。たくさんの方々、『もりの学校』において下さることを心からお待ちしております。

校長 加藤 悦子

美郷町議会事務局

〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10(美郷町役場内)
TEL.0187-84-4912 FAX.0187-85-3102 E-mail gikai@town.misato.akita.jp

美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>



地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。